

頭部CT: 左視床に出血

(1) 脳出血の原因

- (a) 高血圧 (80%)
- (b) 血液疾患、血管奇形
薬剤、など (20%)

(2) 出血の部位

- (a) 高血圧 ; 脳の深部
- (b) 高血圧以外 :

大脳皮質部



症例(神経症状を伴う頭痛、椎骨動脈解離)

患者: 52歳、女性

主訴: 頭痛とめまい、感覚障害

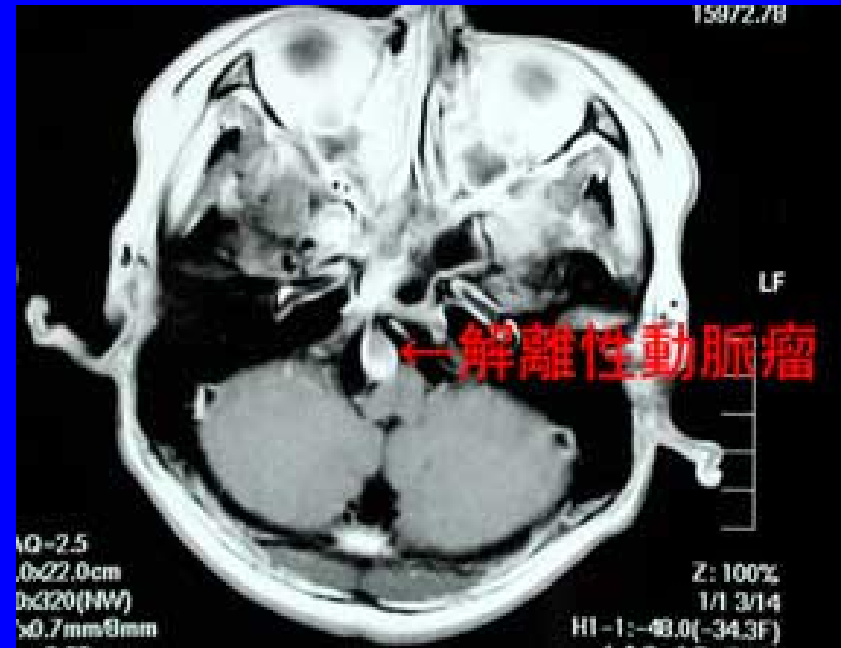
既往歴: 特になし

現病歴: 2006年3月会社の役員会し出席し議論をしていると、後頭部の刺すような痛みと頭をふるたびにめまいが出現するようになった。症状は徐々に悪化し、言語障害や右顔面の違和感、右半身の運動不全が出現し入院となった。

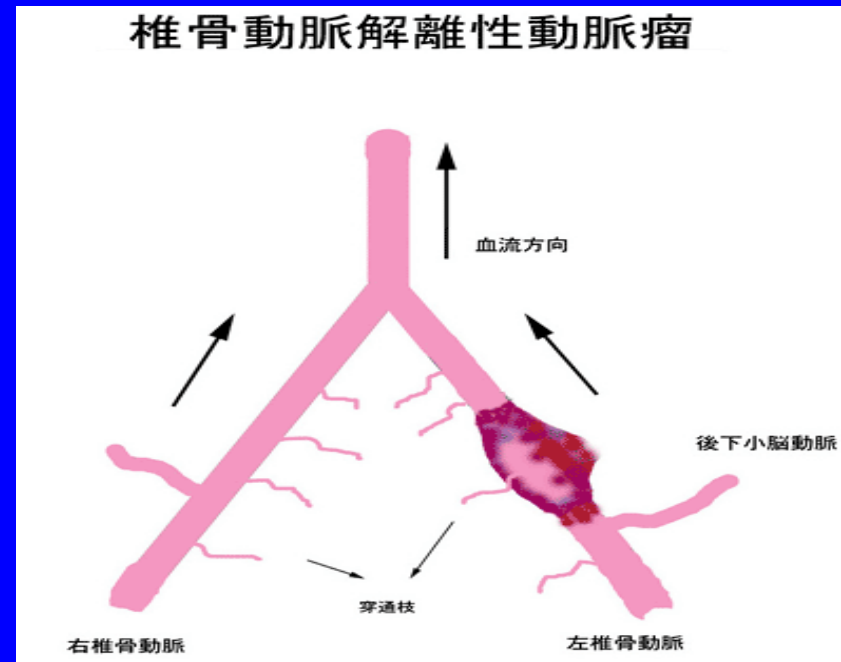
理学所見: 一般理学所見に異常はなく、神経学的所見では右の眼瞼下垂・縮瞳、右顔面の痛覚障害、右上下肢の運動失調、頸部以下左半身の痛覚障害を認めた。

血液検査: 炎症反応陰性、その他検査正常

椎骨動脈解離



椎骨動脈解離性動脈瘤



症例(精神症状を伴う頭痛、慢性硬膜下血腫)

患者: 78歳、女性

主訴: 頭痛と計算障害

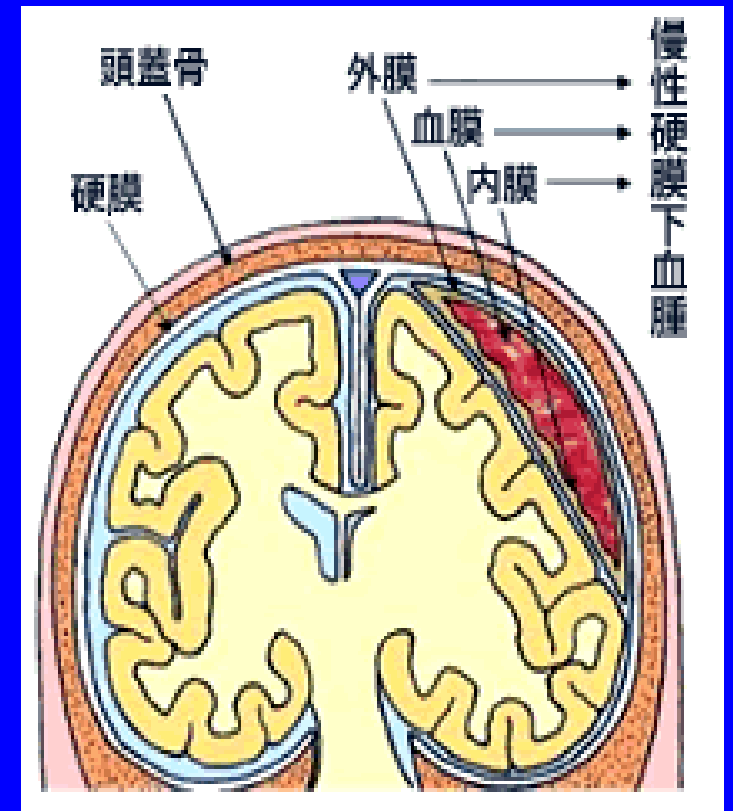
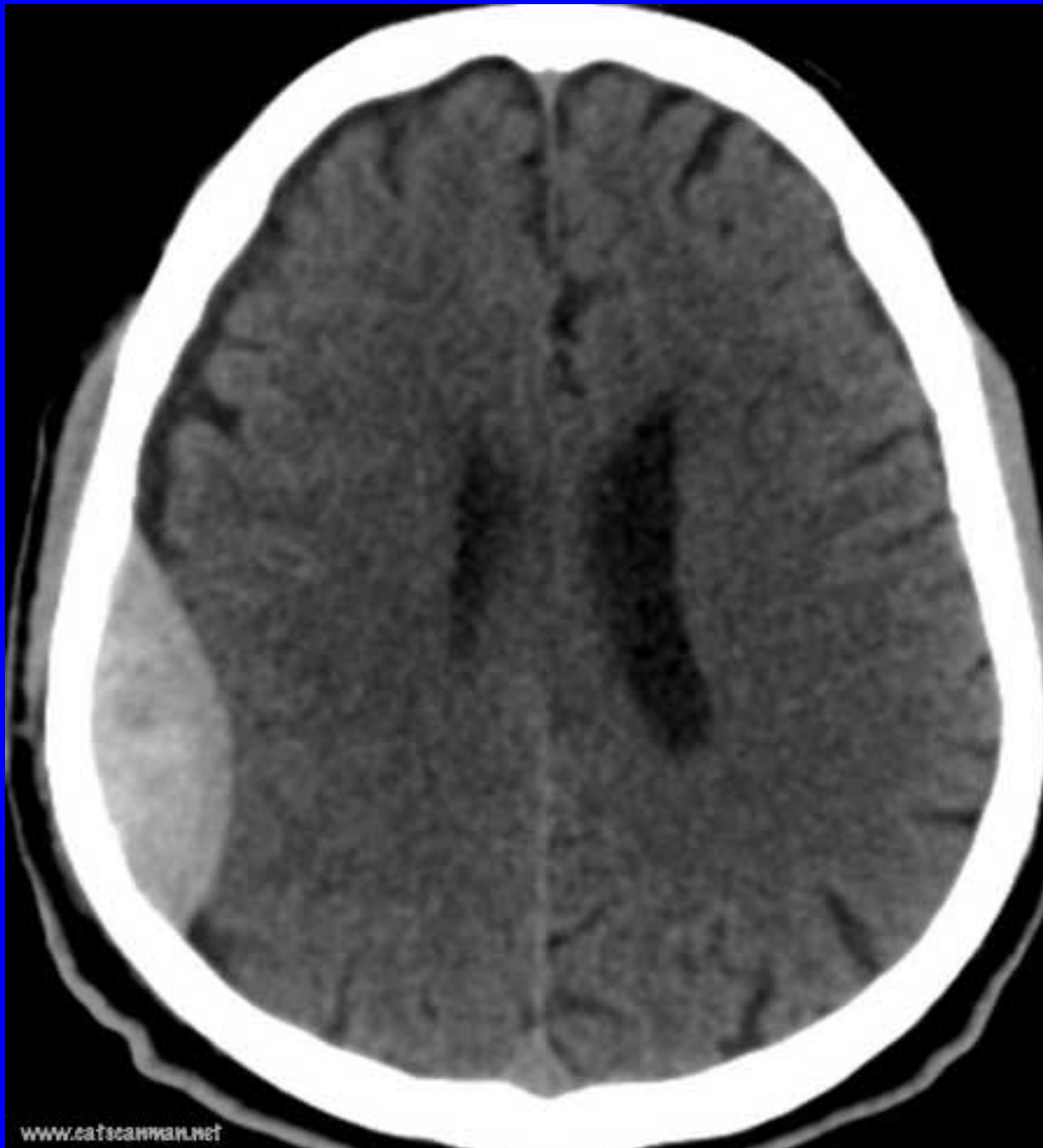
既往歴: 多発大腸憩室

現病歴: 2009年7月上旬に階段を踏み外し、転倒したが右前腕の擦過傷を負ったのみであった。一週間後軽度の頭重感が出現したため近医で頭部CTを実施したが異常はなかった。同年8月下旬頃まで頭重感は持続し、うつ状態となり、トイレも分からなくなった。

理学所見: 一般理学所見に異常はなく、神経学的所見では応答が遅く、簡単な計算(3+5, 7+8など)も困難であった。他には異状を認めなかった。

血液検査: 炎症反応陰性、その他検査正常

慢性硬膜下血腫



症例(徐々に増悪する頭痛、脳腫瘍)

患者: 58歳、男性

主訴: 頭重感

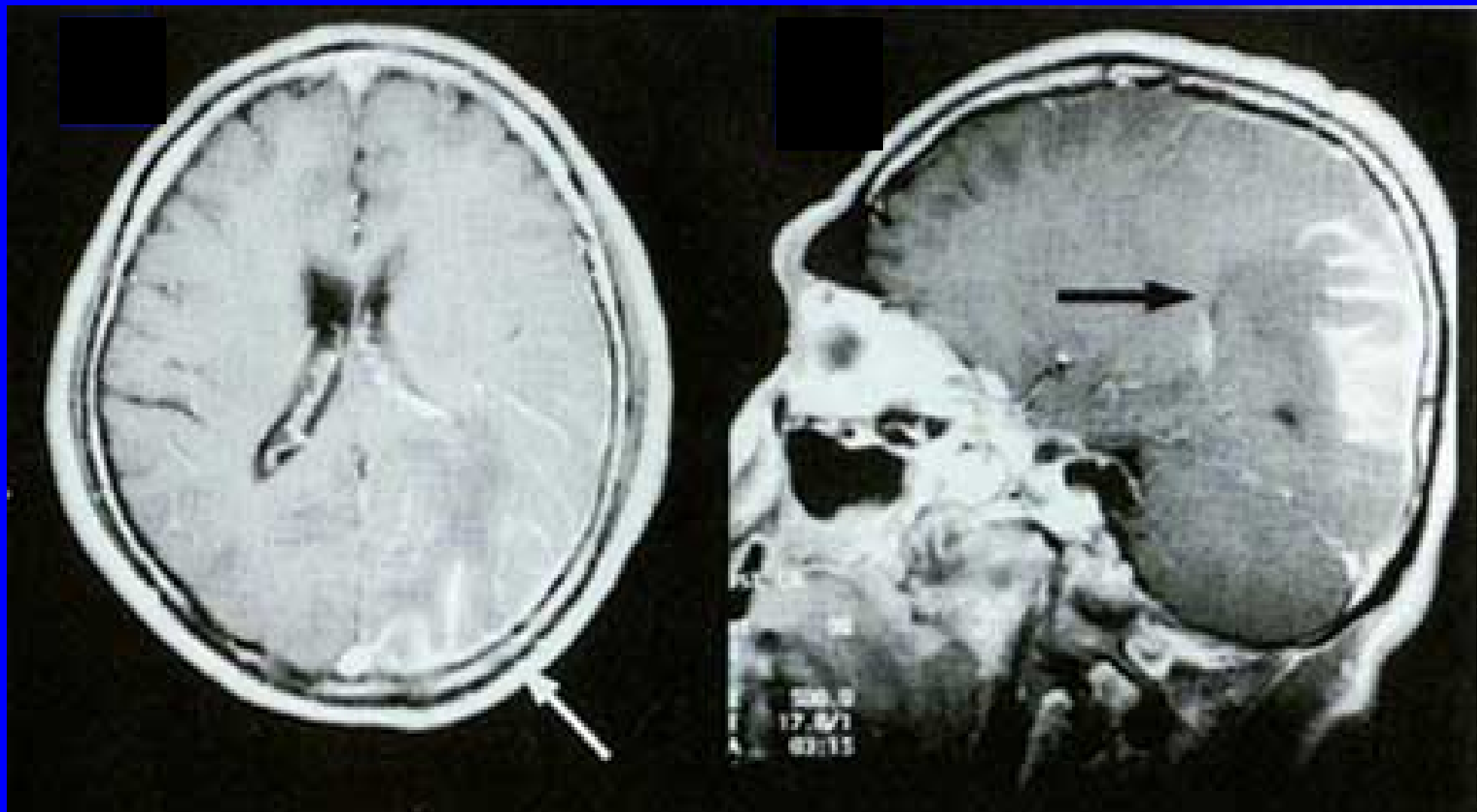
既往歴: 特になし

現病歴: 1999年9月頃から**頭重感**が出現、嘔気や発熱、関節痛などもなく、頭重感は**徐々に増悪**した。10月中旬から話にくさが出現し近医を受診した。頭部CT検査で異常が疑われ当科紹介となる。

理学所見: 意識清明、**右側同名半盲**、**軽度構音障害**を認めるが失語や失行、失認はない。麻痺や失調などを認めなかった。

血液検査: 炎症反応陰性、その他検査正常

MRI検査



頭痛専門医に相談すべき頭痛

1. いままでにない**激痛**
2. **精神・神経症状**を示す頭痛(髄膜刺激症状や巣症状)
3. **増悪傾向**を有する慢性の頭痛(**鈍痛**)
4. 発熱、関節痛、筋痛などの**全身症状**伴う
5. 中年期以降(**50歳以上**)に始めて経験する頭痛発作
6. **薬物乱用**が疑われ治療が困難と感じられた場合
7. 定型的頭痛と診断して治療を開始したが、**薬剤に反応しなかった**場合
8. 認知症や**うつ症状**の一症状と考えられる場合